



「教育目標」と「今年度の重点」に向けて

【教育目標】

自ら学び 心豊かに たくましく 生き抜く子どもの育成

【今年度の重点】

発揮したい力

考えや思いを持つ力・考えや思いを伝える力・チャレンジする力・振り返る力

大切な約束

自分がしてほしいことは ほかの人にもしてあげよう

豊かな人間性

多様性を認め合う

【数値目標】Q-U満足群70%以上 読書月4冊以上

- 自己肯定感の醸成[学級活動・図書館教育]
 - 学級活動(1)完全実施と系統的指導
 - 学級の時間の意図的な実施
 - 読書の習慣化
- 人間尊重の精神の育成[道徳科]
- 感謝・称賛・激励の継続[日常生活]

健康・体力

自分の体に関心を持つ

【数値目標】前年度学年平均以上

- 日常的な運動・遊び[体育]
 - 体育授業の系統的指導(運動身体プログラム)
 - 休み時間等での運動・遊びの奨励
- 自分や他者の命を守る教育[保健・安全]
 - 保健指導の充実(感染予防等)
 - 毎月11日安全の日ヘルメット装着

資質・能力

学びに夢中になる

【数値目標】アンダーアチーバー0%

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ① 考えや思いを持つ。
- ② 考えや思いを伝える。
- ③ チャレンジする。
- ④ 振り返る。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ① 課題や目標に対して自分の考えや思いを持っている。
- ② 課題や目標に対する自分の考えや思いを周囲に伝えている。
- ③ やればできる！できるだけやる！の気持ちで挑戦している。
- ④ 自分のチャレンジを振り返り、学びを見つめ直している。

子供の思いや願い

- ・自分の成長を実感したい
- ・互いに気持ちよく生活したい

保護者や地域の思いや願い

- ・いじめのない安心な学校がよい
- ・子どもの可能性を引き出してほしい

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

すべての子どもの学びを保障する

- 障がいの有無にかかわらず全ての子ども
- の学習環境を整える。
- ユニバーサルデザインの視点による授業
- づくりと学級経営を推進する。

目指す子供の姿

- ・自分の考えや思いを持つ子
- ・自分の考えや思いを伝える子
- ・粘り強くチャレンジする子
- ・自分のしたことを振り返る子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 言語能力
(聞く・読む・書く・話す・語彙獲得・教科語句活用等)
- 情報活用能力 (収集・整理・技術・モラル等)
- 問題発見・解決能力
(問題を見出し、解決方法を探し計画、実行等)

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 1 単元構想を大切に授業の充実[学力]
 - ・習得・活用・探究の場と教科の特質(見方・考え方)
- 2 ノート指導(まとめ・振り返り)[学力]
- 3 学びの質を高めるICT機器の活用[各教科・特活]
- 4 図書室・インターネットの利用[図書館教育・情報教育]

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 全教職員が全校生すべての担任
- 現職教育・校内研修、校外研修参加による学び続ける教師集団
- 保護者・地域・児童養護施設・学校は「パートナー」であり、みんなが庭塚小の創り手
- 幼保小中連携事業(庭塚幼・にわかさこども園・水保小・庭塚小・吾妻中)の積極的推進

安心・安全を守る

- 5S(整理・整頓・清潔・清掃・修繕)の徹底
- いじめ・不登校のない居場所のある安心な学校
- ・健康観察のフルネーム呼名 親和的な学級

地域とともにある学校づくり

- 地域人材、地域教材を生かした学校づくり
- 保護者・地域への積極的な情報発信
- ・学校だより・HP・授業参観・フリー参観等